

履修要覧

2025年度



上智大学

SOPHIA UNIVERSITY

〔大学院科目編〕

2025年度 履修要覧[大学院科目編]

はじめに ▶

- 📖 本学の教育理念
- 📖 【校章と校名（ソフィア）の由来】

開講科目一覧表の見方 ▶

- 📖 開講科目一覧表の見方

大学院分野横断型科目 ▶

- 📖 大学院分野横断型科目

ジョブ型研究インターンシップについて ▶

- 📖 ジョブ型研究インターンシップについて

神学研究科 ▶

- 📖 神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー
- 📖 各専攻のカリキュラム・ポリシー
- 📖 神学専攻 博士前期課程
- 📖 組織神学専攻 博士後期課程

文学研究科 ▶

- 📖 文学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー
- 📖 各専攻のカリキュラム・ポリシー
- 📖 哲学専攻
- 📖 史学専攻
- 📖 国文学専攻
- 📖 英米文学専攻
- 📖 ドイツ文学専攻
- 📖 フランス文学専攻
- 📖 新聞学専攻
- 📖 文化交渉学専攻

実践宗教学研究科 ▶

- 📖 実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー
- 📖 各専攻のカリキュラム・ポリシー
- 📖 死生学専攻 博士前期課程
- 📖 死生学専攻 博士後期課程

総合人間科学研究科 ▶

- 📖 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー

法学研究科 ▶

- 📖 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー

経済学研究科 ▶

- 📖 経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的
- 📖 各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー

教育学専攻 Master's and Doctoral Program in Education

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻 修士課程

各専攻のカリキュラム・ポリシー

法学専攻 博士前期課程

法学専攻 博士後期課程

各専攻のカリキュラム・ポリシー

経済学専攻

経営学専攻

言語科学研究科 ▶

言語科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー

言語学専攻 博士前期課程

言語学専攻 博士前期課程 [言語聴覚研究コース]

言語学専攻 博士前期課程 [英語教授法コース (TESOL)]

言語学専攻 博士前期課程 [日本語教育学コース]

言語学専攻 博士後期課程

グローバル・スタディーズ研究科 ▶

グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー

国際関係論専攻

地域研究専攻

国際協力学専攻 修士課程

理工学研究科 ▶

理工学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー

理工学研究科の履修登録について

理工学研究科学生の法文系科目の履修について

入学年次による授業科目の編成・単位の違いについて

理工学専攻 博士前期課程

理工学専攻 博士後期課程

地球環境学研究科 ▶

地球環境学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー

地球環境学専攻 博士前期課程

地球環境学専攻 博士後期課程

応用データサイエンス学位プログラム ▶

応用データサイエンス学位プログラムの教育研究上の目的及び人材養成の目的

ディプロマ・ポリシー

カリキュラム・ポリシー

応用データサイエンス学位プログラム 修士課程

はじめに

はじめに ▶

📖 本学の教育理念

📖 【校章と校名（ソフィア）の由来】

本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。

【校章と校名（ソフィア）の由来】



校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本質と理想とを表している。

中央にしるされた文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”（SOPHIA）にほかならない。

開講科目一覧表の見方

開講科目一覧表

科目の分野とレベルを示す *は非常勤教員を示す ○：外国語による授業科目

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MMM1000	春	哲学総合研究A	AAA501	2	上智 太郎	○	後期課程「哲学総合講義A」と合併
MMM2000	春	古代哲学文献特論 I	BBB710	2	紀尾井 花子		夏期集中
MMM1100	秋	美学芸術学特講 I	CCC753	2	*市谷 良子		22年次生以降対象科目
MMM2100	秋	宗教思想特論	CCC757	2	(他)目白 肇		
MMM3000	休講	美学芸術学特論 II	DDD754	2			隔年開講
MMM3100	休講	日本思想特論	EEE755	2			隔年開講

今年度休講の科目

他専攻教員

備考欄には重要な注意が書かれているので見落とさないこと

大学院分野横断型科目

本学では、学問分野の俯瞰・横断による知的関心・視野の拡充と、専門分野を超えた人的・知的ネットワークの構築を目的とし、「研究」を切り口とした哲学的、学術的かつ実用的な内容を大学院の各研究科所属の教員が輪講形式で担当・教授する「大学院分野横断型科目」を開設しました。

2025年度の開設科目は次の通りです。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91j00	2	コーディネータ HAIDAR Juan 池田 真		輪講 [30名] 博士前期課程 または修士課程 1年次生対象 神学研究科神学専攻開講

履修上の注意

1. 本科目は大学院博士前期課程または修士課程の1年次生を対象とした抽選科目である。
履修を希望する者は、秋学期履修登録期間冒頭の「抽選エントリー期間」にLoyolaで抽選科目のエントリーを行うこと。
《秋学期抽選エントリー期間》
2025年9月21日（日）10：00～9月25日（木）23：59まで
※履修登録期間及び抽選科目の詳細は「履修要覧〔ガイド・資料編〕」p.30～p.34参照
2. 本科目の評価にはP（合格）、X（不合格）を使用する。
3. 本科目を履修した場合、修了に必要な単位として算入されるか否かは研究科・専攻によって異なる。「履修要覧〔大学院科目編〕」の自分が所属する研究科・専攻のページを参照し、取扱いについて確認すること。

ジョブ型研究インターンシップについて

ジョブ型研究インターンシップについて ▶

📁 ジョブ型研究インターンシップについて

ジョブ型研究インターンシップについて

本学博士後期課程に在籍する正規生は、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会を通して希望する企業へ応募し、承認された場合には当該インターンシップに参加することができます。参加に際しては、理工学研究科が開講する「ジョブ型研究インターンシップ」科目を履修登録する必要があります。インターンシップ参加終了後、当該科目に合格すると2単位が付与されます。企業や官公庁における先端的な研究プロジェクトや実践的な業務を通じて、自らの専門技能の向上に加え、広範囲の実践力を涵養し、トランスファラブルスキルを身に付ける事を科目の目的とします。

(※) ジョブ型研究インターンシップとは、産業界と大学が協力して実施する長期（2か月以上）・有給が前提・ジョブ型のインターンシップ制度です。

○開設科目について（詳細は理工学研究科博士後期課程の開講科目一覧表を参照）

【春学期】「ジョブ型研究インターンシップⅠ」

【秋学期】「ジョブ型研究インターンシップⅡ」

○単位付与について

成績はP（合格）またはX（不合格）を付与する。なお、インターン終期により、各学期の成績公開までに成績付与が間に合わない場合は、次学期のいずれかの日に随時付与する。また、成績付与の時期に離籍していた場合には登録科目は削除することとし、履修者は予め承知の上で履修登録することとする。

○修得単位の取扱い

自身が所属する専攻による。

○インターンシップ参加と履修登録手続き

インターンシップ参加を希望する学生は、指導教員に相談し、指導教員からの許可後、ジョブ型研究インターンシップ推進協議会を通して、参加者を募集している企業とのマッチングを行う。（インターンシップ参加の手続きの詳細は「ジョブ型研究インターンシップ参加学生ガイド」（Loyola > キャリアセンター > WEBキャリアセンター > 博士後期課程学生）を参照）。

成立した場合、速やかに学生本人が学事センター窓口にて本科目への履修登録申請を行うこと。

神学研究科

神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的 ▶

各専攻のディプロマ・ポリシー ▶

- 📄 神学専攻
- 📄 組織神学専攻

各専攻のカリキュラム・ポリシー ▶

- 📄 神学専攻
- 📄 組織神学専攻

神学専攻 博士前期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

組織神学専攻 博士後期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には、修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース、聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M.Bibを授与）、宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M.Divを授与）及び教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが、いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位STDを授与）においては、研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成、及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

各専攻のディプロマ・ポリシー

各専攻のディプロマ・ポリシー ▶

☞ 神学専攻

☞ 組織神学専攻

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

1. 神学を基礎的・中心的研究対象とし、世界的視野の下で、他の思想・文化・宗教との対話の重要性にも注意することができる力

各コースごとには次の力を身につけた者とする

- a. 組織神学コースでは、カトリック教会における司祭の養成をはじめ、体系的なカトリック神学を研究する能力
- b. 聖書神学コースでは、聖書研究の方法論を研究する能力
- c. キリスト教教育コースでは、基礎的な神学理論を踏まえながら、実践的な司牧のあり方について研究する能力
- d. 宣教実務者コースでは、教会における奉仕の現場に携わる人材としての能力

2. 修士論文および課題研究報告書の作成において、論文構成が的確であり、論理展開に整合性・一貫性があり、説得力のある学術論文を作成する力

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、学生が修了時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。なお、必要要件を満たしている場合には、教皇庁立学位STD (Sacrae Theologiae Doctor)の学位も授与することができます。

1. カトリック神学の基礎を踏まえながら、自らの研究テーマを独創的な観点から取り上げ、それを論理的・発展的に提示することができる力
2. 西洋において発展したカトリック神学の研究とともに、日本の思想・文化との対話を通して、独自の神学の樹立を目指すことができる力
3. 博士論文の作成において、論文構成が的確であり、論理展開に整合性・一貫性があり、先行研究を十分に踏まえて、独自性のある高度な学術論文を作成する力

各専攻のカリキュラム・ポリシー

各専攻のカリキュラム・ポリシー ▶

☞ 神学専攻

☞ 組織神学専攻

神学専攻

【博士前期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. カトリック神学の伝統に基づいて、キリスト教に関する専門科目を、包括的・展開的に開設する。
2. 教義神学、教会史、キリスト教教育、キリスト教文学、聖書神学、聖書釈義、倫理神学、教会法、典礼神学、霊性神学、ギリシア語・ヒブル語などの古典文献学の科目を開設する。
3. 基礎的学習の専門性を深めるために、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、宣教実務者コースの4コースを設置する。

組織神学専攻

【博士後期課程】

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、以下のようにカリキュラムを編成しています。

1. 研究指導と教育訓練からなる。研究指導では、指導教員の下で博士論文の作成、および学会等での研究発表を指導する。教育訓練は、指導教員、あるいは研究科委員長が適切だと認めた研究科教員の講義・演習科目における、講義実習や演習指導実習によって行う。
2. 組織神学、聖書学、実践神学、キリスト教文化の各分野の科目を開設する。

神学専攻 博士前期課程

神学専攻 博士前期課程

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【修了要件について】

修了に要する科目、単位数、科目数などの要件 [神学専攻_博士前期課程]

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	30		
↳ 選択科目	30		
↳ 専攻科目			
研究指導（必修）		4	単位数なし、在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること ただし、早期修了者については、在学しない学期分は免除される
修士論文 または 課題研究報告書			必要な研究指導を受け、修士論文の審査および最終試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に、必ず「修士論文」を登録すること) 課題研究報告書は、宣教実務者コース早期修了者のみが対象

【研究指導スケジュール】

【研究指導スケジュール】

事 項	提出期限	対象	備 考
指導教員登録票提出期限(新入生のみ)	4月18日(金)	M1	指導教員承認印受領後、研究科事務室へ提出。
コース登録票提出期限 (新入生のみ)	4月18日(金)	M1	指導教員承認印受領後、研究科事務室へ提出。
研究計画書提出期限(新入生のみ)	5月28日(水)	M1	指導教員承認印受領後、原本を研究科事務室へ、コピーを指導教員へ提出。
宣教実務者コース(早期修了希望者) 「早期修了申請書」提出期限	9月19日(金)	M1	指導教員署名・捺印後、研究科事務室へ提出。
ローマ教皇庁学位 STB・STL 取得希望者申請書一式提出期限	原則年度初め	M1、M2	神学部長(教皇庁神学部長)と相談後、研究科事務室へ提出。
修士論文中間発表会	9月17日(水)	M2	秋学期授業開始前に実施予定
修士論文履修登録	修了予定学期の履修登録期間中	M2	修了する年度の履修登録期間中に Loyola から登録する。
最終筆記試験(STL 資格試験) 試験問題配付	10月2日(木)	M2	
最終筆記試験日(STL 資格試験)	11月6日(木)	M2	
最終口述試験問題配付	11月6日(木)	M2	
STB・STL 資格試験(口述試験)問題配付	11月6日(木)	M2	
修士論文提出期限	1月13日(火)	M2	
最終口述試験日	2月初～中旬	M2	
製本用修士論文提出	3月上旬	M2	最終口述試験日から3週間以内に1部を研究科事務室へ提出する。(図書館保管用)

※年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する「2025年度神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※9月修了希望者は、上記に係る期日を別途指定するため、履修登録前に必ず研究科事務室でスケジュール等詳細について確認すること。履修登録の際は、事前に指導教員と研究科委員長に報告した上で、学事センターに登録を依頼すること。

【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって、カトリック教会と世界の課題解決のために相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。

4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：
 - 5.1. 学問的に論拠が明確であること
 - 5.2. 当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
 - 5.3. 学問の発展に貢献するに足る内容の論文であること。
6. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 6.1. 序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - 6.2. 文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - 6.3. 引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

【課題研究報告書審査基準】

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された課題研究報告書を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、適切な研究計画・研究方法を採っていること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 5.1. 序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - 5.2. 文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - 5.3. 引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

授業科目の編成・単位〔神学専攻 博士前期課程〕

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<教義学>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学 I			2
基礎神学 II			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズム I			2
エキュメニズム II			2
<教会史>			
日本キリスト教史			2
教父学			2
東方キリスト教学			2
教理史 I			2
教理史 II			2
<組織神学：演習>			
現代カトリック教義学 I			2
現代カトリック教義学 II			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<キリスト教教育：演習>			
キリスト教教育ゼミナール I			2
キリスト教教育ゼミナール II			2
キリスト教教育ゼミナール III			2
キリスト教教育ゼミナール IV			2
<人間学>			
キリスト教教育 I			2
キリスト教教育 II			2
キリスト教文学特講 I			2
キリスト教文学特講 II			2
宗教倫理思想 I			2
宗教倫理思想 II			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究 I			2
キリスト教音楽美学研究 II			2
(他) 環境教育			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<聖書神学：演習>			
聖書神学研究ゼミナール I (古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナール II (旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナール III			2
聖書神学研究ゼミナール IV			2
<聖書釈義>			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
<倫理神学>			
倫理神学特講 I (良心と自然法)			2
倫理神学特講 II (いのちと性)			2
倫理神学特講 III (聖書と霊性)			2
倫理神学特講 IV (徳と人格)			2
<教会法>			
教会法 I (秘跡法の入門と実践)			2
教会法 II (教会生活における法規と運用)			2
婚姻法・婚姻訴訟法			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<典 礼>			
宣教学特講 I			2
宣教学特講 II			2
典礼神学 I			2
典礼神学 II			2
典礼神学特講 I (実践基礎論)			2
典礼神学特講 II (原典研究)			2
典礼と霊性 I			2
典礼と霊性 II			2
<霊 性>			
現代の霊性 I (祈りの現代的意義)			2
現代の霊性 II (キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題 I (現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題 II (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2
<大学院分野横断科目>			
分野横断研究法：原理と技法			2

3. 履修上の注意

1. 「研究計画書」、「修士論文作成スケジュール(テーマの設定、中間発表、提出時の注意事項等)」、および研究指導を受けるにあたっての注意事項については、入学年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
2. 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」、「コース登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
3. 基本的には、選択科目を30単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文（早期修了申請者は課題研究報告書）の審査および最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位を取得することができる。
上記以外に、組織神学コース、キリスト教教育コース、聖書神学コース、宣教実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たせば、上記の修士（神学）の学位に加えて、各コースの修了証を受領することができる。
コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。
なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。また、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。
4. ローマ数字（I、II、…）が付与された科目：括弧（ ）による副題の記載のあるものは、それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないおよびIIの科目は、両方の履修が前提として授業が組み立てられている。
科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。
5. 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また、指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については、博士後期課程の頁を参照のこと。
6. 「分野横断研究法：原理と技法」（神学研究科神学専攻開講2025年度秋学期 金曜日5時限2単位科目）について
分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設された。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。
定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等について、2025年度履修要覧〔ガイド・資料編〕を参照のこと。履修登録を行わずに授業に出席することはできない。
なお、評価にはP（合格）・X（不合格）を使用する。

【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻または神学系の修了、もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。そのうえで、規定の教義神学科目（16単位以上）と選択科目（14単位以上〔〈教会史・組織神学〉4単位と〈聖書神学〉4単位と実践神学〈倫理神学・教会法・典礼・霊性〉6単位を含む〕）、および「研究指導」を履修し、最終試験と論文審査に合格すれば、修士（神学）の学位が取得できる。

全世界のカトリック教会において共通な、教会法上の学位STB (Sacrae Theologiae Baccalaureatus)、およびSTL (Sacrae Theologiae Licentiatu)の学位取得を目指す者は、教皇庁神学部長に相談すること。教皇庁からの通達により、「婚姻法・婚姻訴訟法」(2単位)の取得が必修となったので、2019年度以降入学者でSTBおよびSTLの学位取得希望者は、必ず履修すること。

選択必修（30単位）		
教義神学（16単位）	キリスト論特講（キリスト論と三位一体論）(2) 教会論特講(2) 入信の秘跡(2) 基礎神学I/II(4) 恩恵論(2)	聖餐の秘跡(2) ゆるしと叙階の秘跡(2) 結婚の秘跡(2) 現代カトリック教義学I/II(4) マリア論(2)
教会史・組織神学（4単位）	教父学(2) エキュメニズムI/II(4) キリスト教ラテン語原典研究(2)	日本キリスト教史(2) 東方キリスト教史(2) 教理史I/II(4)
聖書神学（4単位）	〈聖書神学：演習〉・〈聖書釈義〉より4単位	
実践神学（6単位）	〈倫理神学〉・〈教会法〉・〈典礼〉・〈霊性〉より6単位	

【キリスト教教育コース】

キリスト教教育コースに所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div（Master of Divinity）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学専攻の他のコースのものを履修してもよい。

演習：必修(8単位)	キリスト教教育ゼミナールⅠ～Ⅳ(8)
人間学：選択必修(10単位)	キリスト教教育Ⅰ(2) 平和学特講(2) キリスト教教育Ⅱ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教文学特講Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2) キリスト教文学特講Ⅱ(2) 宗教倫理思想Ⅰ(2) 宗教倫理思想Ⅱ(2)
自由選択(12単位)	

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を8単位、聖書釈義選択必修科目を10単位（2回まで同一科目の重複履修を認める）、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学専攻の他のコースのものを履修してもよい。

演習：必修（8単位） ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義：選択必修（10単位） ※2回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12単位)	

【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は、以下のとおりである。

【出願資格】 以下の条項のいずれかに該当すること。

1. カトリック教会における教会法上の学位（STB、STL、STD）を有する者。
2. キリスト教会において、司祭・牧師として正式に選任された聖職者。
3. 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

1. 本コースに属する学生は、指導教員のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て、博士前期課程の開講科目から30単位以上を履修する。
2. 在学期間は、通常2年以上であるが、優れた業績を上げた者は、1年間の在学で足りるものとする(早期修了)。

3. その場合は指導教員のもとで、修士論文の代わりに「課題研究報告書」を作成し提出する。
4. 本コースに属する学生が、上智大学神学研究科博士後期課程に進学を希望する場合は、修了要件②は適用されず、在学期間は2年以上とし、さらに修士論文を完成させなければならない。

【早期修了の要件】

早期修了の認定を受けることができる者は、本専攻会議が成績優秀（GPA3.0以上）と判定する者で、かつ次に掲げる要件をすべて満たしていなければならない。

1. 本人が早期修了を希望していること。
2. 30単位以上を修得済みであること。
3. 修士論文に代える「課題研究報告書」についての審査に合格していること。

【早期修了の申請】

早期修了を希望する者は、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請書を、修了年度の春学期終了日（9月20日だが、2025年は土曜のため19日）までに、専攻主任に提出しなければならない。

【早期修了申請の取消】

早期修了の申請が許可された者が、特別な理由により申請を取り消したい場合には、指導教員の合意を得た上で、本専攻が別に定める早期修了申請取消願を専攻主任に提出し、専攻主任の承認を受けなければならない。

4. 開講科目一覧表

4. 開講科目一覧表[神学専攻 博士前期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
MTH7021	春	教会論特講	THE502-91J00	2	増田 健		
MTH7081	春	基礎神学Ⅱ	THE508-91J00	2	川中 仁		隔年開講
MTH7251	春	倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)	THE521-91J00	2	竹内 修一		隔年開講
MTH7301	春	教会法Ⅰ(秘跡法入門と実践)	THE525-91J00	2	菅原 裕二		隔年開講
MTH7321	春	ゆるしと秘跡の司牧	THE527-91J00	2	菅原 裕二		隔年開講
MTH7371	春	典礼神学特講Ⅱ(原典研究)	THE531-91J00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTH7421	春	現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)	THE535-91J00	2	*阿部 仲麻呂		隔年開講
MTH7432	春	キリスト教文学特講Ⅰ	THE536-91J00	2	片山 はるひ		隔年開講
MTH7452	春	キリスト教教育Ⅰ	THE538-91J00	2	(他)武田 なほみ		隔年開講、前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅰ」後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅱ」と合併科目
MTH7542	春	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE545-91J00	2	HAIDAR Juan		隔年開講
MTH7502	春	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE542-91J00	2	小山 英之		隔年開講
MTH7562	春	モーセ五書特講	THE546-91J00	2	大西 崇生		
MTH7633	春	新約文献特講	THE550-91J00	2	廣石 望		隔年開講
MTH7722	春	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE554-91J00	2	廣石 望		
MTH7752	春	キリスト教音楽美学研究Ⅱ	THE558-91J00	2	森 裕子		隔年開講
MTH7755	春	宣教学特講Ⅰ	THE561-91J00	2	原 敬子		隔年開講
MTH7031	秋	人信の秘跡	THE503-91J00	2	菅原 裕二		隔年開講
MTH7041	秋	聖餐の秘跡	THE504-91J00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTH7101	秋	マリア論	THE510-91J00	2	増田 健		隔年開講
MTH7111	秋	エキュメニズムⅠ	THE511-91J00	2	増田 健		隔年開講、前期課程死生学専攻「教会一致運動研究Ⅰ」と合併科目
MTH7131	秋	日本キリスト教史	THE513-91J00	2	(他)川村 信三		隔年開講
MTH7161	秋	東方キリスト教史	THE514-91J00	2	*大崎 果歩		
MTH7171	秋	教理史Ⅰ	THE515-91J00	2	角田 佑一		隔年開講
MTH7211	秋	現代カトリック教義学Ⅰ	THE517-91J00	2	光延 一郎		隔年開講
MTH7261	秋	倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)	THE522-91J00	2	竹内 修一		隔年開講
MTH7351	秋	典礼神学Ⅱ	THE529-91J00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTH7453	秋	キリスト教教育Ⅱ	THE539-91J00	2	原 敬子		隔年開講
MTH7602	秋	預言者特講	THE548-91J00	2	*左近 豊		隔年開講
MTH7712	秋	聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)	THE553-91J00	2	大西 崇生		
MTH7622	秋	パワロ特講	THE549-91J00	2	廣石 望		
MTH7733	秋	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE555-91J00	2	廣石 望		隔年開講
MTH7754	秋	典礼と霊性Ⅱ	THE560-91J00	2	FIRMANSYAH Antonius		隔年開講
MTH7771	秋	婚姻法・婚姻訴訟法	THE534-91J00	2	*田中 昇		
MGGE290	秋	環境教育	ENV611-94J00	2	(他)吉川 まみ		(他)地球環境学研究科地球環境学専攻開講
MTH7391	40 集中	現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)	THE533-91J00	2	*小暮 康久		集中講義、隔年開講
MTH9010	秋	修士論文	THE699-91J00	0	神学専攻各指導教員		M2対象
MTH9000	秋	課題研究報告書	THE689-91J00	0	神学専攻各指導教員		宣教実務者コース早期修了者対象
MTH7780	秋	分野横断研究法：原理と技法	THE565-91J00	2	HAIDAR Juan (他)池田 真		輪講 [30名] 博士前期課程または修士課程1年次生対象
MTH7011	休講	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)	THE501-91J00	2			隔年開講
MTH7051	休講	ゆるしと叙階の秘跡	THE505-91J00	2			隔年開講
MTH7061	休講	結婚の秘跡	THE506-91J00	2			隔年開講
MTH7071	休講	基礎神学Ⅰ	THE507-91J00	2			隔年開講
MTH7091	休講	思慮論	THE509-91J00	2			隔年開講
MTH7121	休講	エキュメニズムⅡ	THE512-91J00	2			隔年開講、前期課程死生学専攻「教会一致運動研究Ⅱ」と合併科目
MTH7181	休講	教理史Ⅱ	THE516-91J00	2			隔年開講
MTH7221	休講	現代カトリック教義学Ⅱ	THE518-91J00	2			隔年開講
MTH7231	休講	キリスト教ラテン語原典研究	THE519-91J00	2			隔年開講
MTH7241	休講	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)	THE520-91J00	2			隔年開講
MTH7271	休講	倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)	THE523-91J00	2			隔年開講
MTH7291	休講	平和学特講	THE524-91J00	2			隔年開講
MTH7311	休講	教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)	THE526-91J00	2			隔年開講
MTH7341	休講	典礼神学Ⅰ	THE528-91J00	2			隔年開講
MTH7361	休講	典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)	THE530-91J00	2			隔年開講
MTH7381	休講	現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)	THE532-91J00	2			隔年開講
MTH7441	休講	バストラル・ケア特講	THE537-91J00	2			隔年開講、前期課程死生学専攻「生涯発達論研究Ⅱ」後期課程死生学専攻「生涯発達論特殊研究Ⅲ」と合併科目
MTH7472	休講	宗教倫理思想Ⅱ	THE540-91J00	2			隔年開講
MTH7482	休講	キリスト教教育ゼミナールⅠ	THE541-91J00	2			隔年開講
MTH7522	休講	キリスト教文学特講Ⅱ	THE543-91J00	2			隔年開講
MTH7532	休講	キリスト教教育ゼミナールⅡ	THE544-91J00	2			隔年開講
MTH7582	休講	詩編と知恵特講	THE547-91J00	2			隔年開講
MTH7642	休講	宗教倫理思想Ⅰ	THE551-91J00	2			隔年開講

MTH7702	休講	聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史)	THE552-91j00	2		隔年開講
MTH7741	休講	現代司牧の諸問題Ⅰ (現代のカテキズム)	THE556-91j00	2		隔年開講
MTH7751	休講	キリスト教音楽美学研究Ⅰ	THE557-91j00	2		隔年開講
MTH7753	休講	典礼と霊性Ⅰ	THE559-91j00	2		隔年開講
MTH7756	休講	宣教学特講Ⅱ	THE562-91j00	2		隔年開講
MTH7757	休講	教父学	THE563-91j00	2		隔年開講

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE599-91j00	H Aidar Juan	
THE599-91j00	原 敬子	
THE599-91j00	廣石 望	
THE599-91j00	片山 はるひ	
THE599-91j00	川中 仁	
THE599-91j00	小山 英之	
THE599-91j00	光延 一郎	
THE599-91j00	森 裕子	
THE599-91j00	菅原 裕二	
THE599-91j00	竹内 修一	
THE599-91j00	FIRMANSYAH Antonus	
THE599-91j00	角田 佑一	

組織神学専攻 博士後期課程

組織神学専攻 博士後期課程 ▶

- 📄 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件
- 📄 2. 授業科目の編成・単位
- 📄 3. 履修上の注意
- 📄 4. 開講科目一覧表
- 📄 5. 研究指導一覧表

1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

【修了要件について】

修了に要する科目、単位数、科目数などの要件〔組織神学専攻_博士後期課程〕

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限、その他）
総単位数	6		
授業科目			
・選択必修科目	6		
自専攻科目			
研究指導（必修）		6	単位なし、在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

【研究指導スケジュール】

事 項	提出期限	対 象	備 考
指導教員登録票提出期限（新入生のみ）	4月18日(金)	D1	指導教員承認印受領後、研究科事務室へ提出。
研究計画書提出期限（新入生のみ）	5月28日(水)	D1	指導教員承認印受領後、原本を研究科事務室へ、コピーを指導教員へ提出。
博士論文執筆資格試験必要書類の配付		D1	新入生ガイダンスで以下の書類を配布 ①「博士論文執筆資格試験規程」 ②コンプリハンシヴ試問用書籍候補リスト
博士論文執筆資格試験受験申込	【20～23年次生】 入学後、1年を経過した時点	D2	入学後1年経過した時点から受験を申し込むことが可能。 申込みの際、プロポーザル3部を研究科委員長に提出する。
	【24年次生以降】 入学後、1年を経過した時点から、論文提出予定約1年前まで	D2	入学後1年経過した時点から、論文提出を目標としている時期の約1年前までに受験を申し込むことが可能。 試験約1ヶ月前までに、プロポーザル3部を研究科委員長に提出する。 ※何らかの事情によって上記の条件を満たせない場合は、事前に必ず研究科委員長に相談すること。
博士論文執筆資格試験日程の通知・公表		D2	【20～23年次生】 プロポーザル提出後、1ヶ月前後の適当な時期に試験日程を決定し、日程のみ学生に通知し、同日程を掲示する。
		D2	【24年次生以降】 受験申込み後、研究科委員長は適当な時期に試験日程を決定し、日程のみ学生に通知し、同日程を掲示する。
博士論文執筆資格試験担当教員の通知・公表		D2	試験1週間前に、研究科委員長は試験担当教員を学生へ通知し、掲示する。
博士論文執筆資格試験実施		D2	プロポーザル提出後、1ヶ月前後に実施。2度目試験が不合格の場合、退学となる。
博士論文執筆資格試験最終合否判定・通知		D2	3名の試験担当教員により合否判定結果を研究科委員会に諮り、最終の合否判定を審議し、研究科委員長は直ちに判定結果を学生へ通知する。
学位論文テーマの登録保存と公示		D2	研究科委員長は、合格した学生の学位論文テーマが登録保存されたことを公示する。

自己申告書(学会研究発表・論文掲載・教育訓練実施報告)提出期限	在籍最終年度 春学期修了： 6月18日(水) 秋学期修了： 12月17日(水)	D2	所定用紙に記載のうえ、研究科事務室へ提出。
博士論文の申請・公開試験の実施		D2	学事センターへ論文審査願を提出。 学位授与審議は、9月または3月の大学院委員会で行うため、論文提出時期、公開試験日程等については、指導教員および研究科委員長の指示に従って進めて行くこと。

※年度初めの新入生・在校生ガイダンスで配付する「2025年度神学部・神学研究科年次予定表」を参照すること。

※博士論文執筆資格試験については、新入生ガイダンスで配付する「博士論文執筆資格試験規程」を参照すること。

【博士論文審査基準】

自立した研究者として、当該分野・領域における独創的研究をとおして、カトリックの教会と世界に貢献できる能力が認められること。なお、ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

1. 問題設定：問題意識が明確で、課題設定が適切であること。
2. 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
3. 研究方法：研究目的に対して、研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
4. 論文構成：論文構成が的確で、論理展開に整合性・一貫性があること。
5. 研究の位置づけ：
 - 5.1. 学問的に論拠が明確であること。

- 5.2. 当該分野・領域において、学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 5.3. 学問の発展に貢献するに足る内容の論文であること。
6. 独創性：全体を通して、学術的独創性が認められること。
7. 形式面：以下の形式面が整っていること。
 - 7.1. 序論、本論（章・節）、結論にわたって、構成が適切であり、目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
 - 7.2. 文章が明快で、論旨が明晰判明に理解可能であること。
 - 7.3. 引用の方法・内容が適切で、引用文献表が簡潔に整えられていること。

2. 授業科目の編成・単位

授業科目の編成・単位〔組織神学専攻_博士後期課程〕

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<組織神学研究>			
組織神学研究 I		2	
組織神学研究 II		2	
組織神学研究 III		2	
組織神学研究 IV		2	
<聖書学研究>			
旧約聖書研究 I		2	
旧約聖書研究 II		2	
新約聖書研究 I		2	
新約聖書研究 II		2	
<実践神学研究>			
倫理神学研究 I		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
倫理神学研究 II		2	
実践神学研究 I		2	
実践神学研究 II		2	
霊性神学研究 I		2	
霊性神学研究 II		2	
<キリスト教文化研究>			
教会史研究 I		2	
教会史研究 II		2	
キリスト教思想研究 I		2	
キリスト教思想研究 II		2	
キリスト教人間学研究 I		2	
キリスト教人間学研究 II		2	

3. 履修上の注意

1. 「研究計画書」、「博士論文作成スケジュール(テーマの設定、提出時の注意事項等)」、および研究指導を受けるにあたっての注意事項については、入学年度初めの新入生ガイダンスで配付する資料を参照すること。
2. 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「研究計画書」を研究科事務室に提出すること。
3. 修了要件は、(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また、博士論文の執筆条件として、(c)博士論文執筆資格試験（コンプリヘンシヴ）の合格が前提となる。
 - 3.1. 研究指導は、上記開講科目および前期課程開講科目の受講、博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに、学会での研究発表（学会誌等論文掲載を含む）が義務づけられる。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
 - 3.2. 教育訓練は、研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際、同訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。
 - 3.3. 博士論文執筆資格試験は、適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は、①組織神学全般に関する総合的な試問、および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために、①には「選択書籍表」、②には「論文の計画素案（proposal）」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で、学位（博士）論文のテーマがリザーブされ、博士論文の執筆が承認される。なお、上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は、上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。
 - 3.4. 2018年度入学者から、上記(a)～(c)の修了要件に加え、博士後期課程開講科目の中から、6単位以上の単位修得が必須となる。
4. 博士後期課程修了、満期退学等には、上記の修了要件を満たす必要がある。

4. 開講科目一覧表

4. 開講科目一覧表[組織神学専攻_博士後期課程]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	外国語	備考
DTTH7210	春	組織神学研究Ⅰ	THE801-92j00	2	光延 一郎		
DTTH7250	春	旧約聖書研究Ⅰ	THE805-92j00	2	大西 崇生		
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE807-92j00	2	廣石 望		
DTTH7290	春	倫理神学研究Ⅰ	THE809-92j00	2	竹内 修一		
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE811-92j00	2	原 敬子		
DTTH7350	春	教会史研究Ⅰ	THE815-92j00	2	川中 仁		
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE817-92j00	2	Haidar Juan		
DTTH7220	秋	組織神学研究Ⅱ	THE802-92j00	2	光延 一郎		
DTTH7380	秋	キリスト教思想研究Ⅱ	THE818-92j00	2	Haidar Juan		
DTTH7260	秋	旧約聖書研究Ⅱ	THE806-92j00	2	大西 崇生		
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE808-92j00	2	廣石 望		
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE812-92j00	2	原 敬子		
DTTH7360	秋	教会史研究Ⅱ	THE816-92j00	2	川中 仁		
DTTH7300	休講	倫理神学研究Ⅱ	THE810-92j00	2			
DTTH7230	休講	組織神学研究Ⅲ	THE803-92j00	2			
DTTH7240	休講	組織神学研究Ⅳ	THE804-92j00	2			
DTTH7330	休講	霊性神学研究Ⅰ	THE813-92j00	2			
DTTH7340	休講	霊性神学研究Ⅱ	THE814-92j00	2			
DTTH7390	休講	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE819-92j00	2			
DTTH7400	休講	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE820-92j00	2			

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
THE899-92j00	Haidar Juan	
THE899-92j00	原 敬子	
THE899-92j00	廣石 望	
THE899-92j00	片山 はるひ	
THE899-92j00	川中 仁	
THE899-92j00	小山 英之	
THE899-92j00	光延 一郎	
THE899-92j00	森 裕子	
THE899-92j00	菅原 裕二	
THE899-92j00	竹内 修一	
THE899-92j00	FIRMANSYAH Antonius	
THE899-92j00	角田 佑一	